

サポート研修 講師等養成「人権・同和問題Ⅱ」

【日時】	令和3年5月26日（水）9：00～17：00、6月4日（金）9：30～17：00
【会場】	1日目：東京都人権プラザ 2日目：特別区職員研修所
【受講者数】	12名
【講師】	<p>（公財）東京都人権啓発センター 専門員 東日本部落解放研究所副理事長 吉田 勉 氏 国立ハンセン病資料館学芸員 牛嶋 渉 氏 プライドハウス東京コンソーシアム代表 松中 権 氏 東京都中央卸売市場食肉事業推進担当課長 （公財）東京都人権啓発センター講師 緑川 裕子 氏</p>
【研修内容】	<p><目的> 人権・同和問題に係る差別事象の現状や実態についてフィールドワークを中心に学び、講師として知識の習得と人権感覚の高揚を図る。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京の人権問題と人権施策 ○ 東京の同和問題（DVD視聴含む） ○ ハンセン病とその歴史について（DVD視聴含む） ○ LGBT～ダイバーシティの推進～（性的指向・性自認） ○ 浅草弾左衛門支配と東京の皮革産業（DVD視聴含む） ○ 産業・教育資料室きねがわと木下川地区（DVD視聴含む） ○ 食肉市場の食肉処理業務の現状と差別の実態・背景について ○ 人権研修の講師に求められているもの ○ 人権研修講師スキルと研修素材について
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員の仕事と人権は、深くつながっていると考えます。管理職として、意思決定の判断基準はもちろん、普段の言動においても気を付けるべきだと感じました。 ・LGBTについて、国会で見送りになったニュースはタイムリーで、本研修を受講していなかったら、スルーしていた記事だと思いました。自分でもさらに勉強してもっと理解を深めたいと思います。 ・今後の研修登壇に向けて、さまざまな知識を得ることができ、大変参考になりました。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・現在の人権についての考えがわかりました。過去に教えられたものの発展したものについて感じられました。・「想像力」がキーワードであると感じました。単に、「空気を読む」とは違い、しっかり声に出して、自分の思いや意見を伝える必要があると思います。何もなかったように問題が起きなければいいという考えでは何も変わらないと学習しました。 |
|--|---|